



## 修業式 校長講話 「温かいあなたのままでいてください」

修業式にあたり「温かいあなたのままでいてください」というお話をします。

オークションという言葉聞いたことがありますか？オークションは、ある品物を売りたい人がいて、一番高い金額をつけた買い手が競り落とす仕組みです。このオークションに関わって、あるテレビ番組で「良いなあ」と思って観た話をします。

カナダに住むある夫婦が事故で亡くなりました。夫婦には、小さな子どもたちが二人いて、おじいさんに育てられることになりました。おじいさんが困ったことは、子どもたちは二人とも聴覚障がいがあって、将来にわたって医療費が必要となることでした。

そこでおじいさんや他の親族の方たちは、亡くなった子どもたちのお父さんが大事にしていた自動車をオークションにかけることにしました。お父さんの形見なので手放しにくかったけれど、将来にわたる医療費のために手放すことにしました。

オークション当日。通常ならすぐにオークション開始となるのですが、進行役はオークションを一時中断して、この車が競りにかけられることになった経緯や、売れた後のお金が何に使われるのかを説明しました。通常ではありえないことのように、そして、オークションでは奇跡が起こりました。

車はまず、日本円にして約250万円で競り落とされました。しかし、車はすぐに寄付されてそのままオークションに戻されました。そしてもう一度オークションにかけられ、今度も約250万円で競り落とされました。そしてまた車は寄付されて、3回目のオークションが行われ、約180万円で競り落とされました。ところがまた寄付されて結果的に車はおじいさんたちのもとに戻ってきました。このようにして、同じ車のオークションが3回も行われ、おじいさんたちは普通なら250万円だけで終わる売り買いなのに、合計で680万円になり、しかも車も戻ってきたことになりました。車を寄付

した人は「成長した子どもたちが父親の残した車を運転できる日が来るといいな」と話したそうです。

(参照：「カラパイア 不思議と謎の大冒険」HP)

自分たちには何も残らないどころか金銭的にはマイナスだけど、より多くのお金を子どもたちに残してあげたいと思う気持ち、お父さんの形見の自動車も残してあげたいと思う気持ち。温かいお話だと思いました。

カナダはキリスト教を信仰する人が多い国ですが、キリスト教には「You shall love your neighbor as yourself. (あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ)」という聖書の言葉があります。他の三大宗教の仏教では「同事」、イスラム教では「喜捨」という考え方や行動などがあり、解釈は複数ありますが、相手を想うことは大切にされています。人間はやはり本来的に相手を想い温かい行いができるようになっているのではないのでしょうか。

年末に「SPTA で話そう会」をしましたが、その後、昇降口に置いた宣伝用の黒板を体育館に運んでいました。すると、一人の子が「大丈夫ですか？」と声をかけてくれました。さっと出てきたその気遣いの温かさがとてもうれしかったです。去年も話しましたが、私が冬場に学校を休んで久しぶりに来たところ、「校長先生、久しぶりだね」と二人の人から声をかけてもらいました。これもうれしかったですね。

皆さんはこのように温かい気持ちをもっている人々でいっぱいです。うまく伝えられなかったりするけれど、きっと心の中は温かい気持ちがあふれています。どうか、温かいあなたのままでいてください。できれば、温かい気持ちは表に表してください。来年度もあなたたちに期待しています。

明日は卒業証書授与式です。全員で3年生の卒業をお祝いしましょう。3年生のために、みんなでよい式をつくりましょう。

明日の卒業式を終えると春休みに入ります。健康、交通安全等に気を配り、4月にそれぞれのスタートができるように準備をしましょう。

